

## 平成 30 年度 事業報告書

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

特定非営利活動法人 アフリカ児童教育基金の  
会 A C E F

### 定款 1 の医療援助事業

現在、エンブ（エンブタウン分院を含む）エナ、マキマに 3 つの病院を運営しているが、これまで独立していたエナ病院は、30 年 9 月 1 日より経営面でエンブ病院の傘下となった。これで病院はエンブ病院の管理下となり、ACEF 会計からは切り離し、独立採算できるようになった。

エンブ病院は透析機器、MR、CT スキャンなどの高度医療の機器を導入するため、昨年度に引き続き、外観、内部ともに改装が継続中。エンブ病院（タウン分院を含む）だけでも、年間の来院数は約 65,000 人で、今や私立病院としての知名度は高く、エンブ以外の地域からも患者が来るようになっている。

エナ病院は、(上記のように) 経営法人が変わり、外観、内装などの修繕をしながら運営。新たに防犯カメラなどの導入もし、患者の安全と事業管理体制を強化した。

マキマ地区のマキマ分院は、これまではソーラー発電での蓄電による電気供給だったが、2017 年に行われたクラウドファンディングにより、電気供給、井戸の汲みあげも電動式に変更し、設備面でも整っている。

毎年恒例になった、エイズ疾患やガン検診のメディカルキャンプ（住民への無料診療）も 3 つの病院で、時期をわけて引き続き実施。

### 定款 2 の医療講習会開催事業

エイズケアセンターとして、エナ病院では、住民へのエイズ予防講習会を実施。多くの住民にエイズ防止の啓蒙と共に、今後も周りの住民のエイズ感染者への偏見や差別をなくすための、正しいエイズの知識を教育。

特に未感染者への啓蒙、感染防止対策として、エイズの基礎知識を教え、H I V は感染防止が可能なこと、感染者とも社会的に共有し助け合えること、感染リスクなどを教え、エイズに対する住民の意識を向上させ、また、感染者家族に対する差別的、社会排他的な地域社会に対して、誰もが感染者になりうる可能性があり、特に近年 40 代、50 代の小学校でのエイズ講習を受けていない中高年層に感染者が増加していることなど、正しいエイズ教育を行った。

さらに、後出のエイズ孤児の実態調査の際、一緒に巡回診療を行い、病院より期限切れ間近の薬を提供してもらい配布。有機農法促進事業の講習会の参加者に許可を取り、エイズに関する意識調査なども行い、エイズ感染者の実態把握とケアに努めた。

### 定款 3 の職業技術訓練

職業訓練校は、義務教育（6 歳から 13 歳までの 8 年制）を修了出来なかった青年及び子女を対象に、8 つのコース（自動車整備、板金塗装、金属加工、家具木工、洋裁服飾、美容、コンピュータ技術、自動車免許取得）に分けて、将来の雇用を促進する教育事業として当会が運

営。ケニア政府公認校に指定されて6年。教員派遣や学費支援などを受けて自立運営している。

しかし、近年、学生が減少傾向にあることから、独自の特色を出すため、日本向け商品を作成している洋裁師に指導してもらう時間を設け、他の学校との差別化を図っている。

また、同じケニアで活動するNPO法人が支援する事業とコラボし、学校の長期休暇中に、当職業訓練所で、小学校教師や洋裁教師の再トレーニングプログラムも継続して実施中。

#### 定款4の教育支援

当会スタッフの子供たちのために始めた、義務教育を行う小学校（7歳から14歳までの8年制）は、年末に行われる全国統一高校入学試験（日本のセンター試験のような試験で、この成績により高校が振り分けられる）の結果が年々上昇し、エンブ郡450校中、第1位を7年連続して獲得し、首位を保っている。

2019年1月から始まった5教科だけではなく、副教科の充実を謳った新教育制度に則って、ケニアの将来のリーダーの輩出に勤めている。生徒数 保育所、幼稚園約30人 小学校約360名

「エイズ感染孤児」を対象にした、子供たちの生活向上と教育支援事業を実施するためのACEFジャンプ&スマイルセンターの運営も継続。近隣の2つの小学校に分かれて通学。エナ・エイズケアセンターと連携して健康管理を行い、子供たちに教育の場を提供し、せっかく生まれた人生の生きる道を探り、絵画や音楽、ダンス、スポーツなど適性を生かした道とともに支援している。

今年度は4人の小学校卒業生を輩出し、現在高校生が7名。引き続き、高校教育の支援を行っている。また、エイズ孤児施設の経済的自立のため、有機農法による農園を整備し、家畜の世話をし、自給自足の生活を目指す。また、前出のクラウドファンディングにより、電気と井戸の供給と併せて、自立できる道を確保するために、ダチョウ園を運営する計画が進行しており、開設を目指している。滞在30名。

#### 定款5の有機薬剤及び有機肥料の製造と普及の推進

農業立国を目指すケニア国家の国策を支援するため、従来から有毒で高価な化学肥料や、化学農薬に依存してきた農業栽培方式から、安全で安価な有機微生物を活用した「有機肥料及び農作物の病害虫を抑制」ための、自然再生型の農業栽培の転換を目的として、貧しい農民への「有機肥料の知識と技術」を教育する「農民講習会」と「実習農場」において有機栽培の実習する教育を実施。

ケニア政府ユース省と提携して、人材育成としての農業ビジネスコースと、そこで生産した農業物をバラエティー豊かに調理するフードコースを実施し、若者に農業とその生産物の価値を高めるビジネスを教える事で、農業の楽しみや収益の向上を目指し、将来のケニアの農業を担う、若手の農業者育成を目指す事業が始動し、継続。有機農業トレーニングセンターでは、後出のリサイクルシステム構築のため、農業従事者・若者を対象に、『MOTTAINAI』を合言葉にしたセミナーを実施。また、ケニア政府より、ケニア国内に500か所ある職業訓練校の、教員の教育施設としても、継続して利用されている。

## 定款6 環境保全に係る事業

### 啓発人材の育成と、環境保全活動

JICA 草の根事業で育成したリーダーたちと、引き続き事業で派生した市民活動として発展させている。

この活動はエンブ郡にも認められ、エンブ郡で行われる農業イベントには、毎年、環境啓発員として採用され、公共イベントなどで散らかるゴミを拾いながら、環境保全について話す機会を得ている。

さらに、回収した生ゴミを使ったたい肥を製造。生ゴミとプラスチックやカン・ビンなどの分別作業をするためのステーションを設置した、地域団体 Utamaduni をサポート。若年層の雇用支援として、分別作業に地域の若者を雇用。分別したプラスチック、カン・ビンは業者に引き取ってもらった収益は、Utamaduni の運営資金とする。

また、2017年9月より、ケニア国内ではレジ袋の製造、使用、持ち込みを禁止する条例が施行されたことを受け、ケニア国内向けのエコバック普及活動をする地域団体 Utamaduni の活動をサポート。スーパーへの営業、セミナー、研修会などでアメニティグッズ、キャリティーグッズとして活用してもらえるように、政府機関や国際機関にアプローチし、ケニア赤十字からオーダーを得た。同時に、日本国内向けのアフリカ布バックの普及もサポート。デザイン、縫製のアドバイス、販路調査、出店先営業、委託販売などもサポート。

### 「学校の森」造成事業

これまで支援を受けて実施した、小学校、高校を対象とした「学校の森」のフォローアップ。地球温暖化の抑制を実施するため、近隣の森林を伐採し、燃料に使用しなくてもいいよう、全校庭に「学校の森」造成を実施した小学校のリサーチ。

乾燥地に強く、家具材に適したムカウは、これまでは、種の取り出しや発芽、育苗が難しかったが、JICA の協力により、JIFPRO（国際緑化推進センター）と KEFRI（ケニア森林局）の連携し、発芽促進技術を開発されたことにより、ACEF でもムカウを普及するセミナーを過去に何度も実施。現在も、エイズ孤児院と病院のあるマキマで育成中。これは、JICA の依頼により、このムカウ種のデータを採るための検定林を育成する農地を ACEF が提供し、データを取り終えた3年後には、そのムカウ種は提供して頂けることになっている。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	支出額 (千円)
定款① 医療援助活動	自立採算できるようになったため、事業支出なし	診察時間 月～金 8:00～17:00 土 8:00～13:00	エンブ郡エンブ市エナ村 マキマ村	0千円
定款② 医療講習会開催事業	自立採算できるようになったため、事業支出なし	適時	エンブ郡全域	0千円
定款③ 各種の職業訓練学校の運営事業	政府認定の職業訓練学校になったことにより、事業費支出なし		エンブ郡マジンボ村	0千円
定款④ 教育支援事業	貧しい家庭の子供と孤児を対象にした義務教育（7歳から14歳までの8年制）の小学校及び寄宿舎の運営 エイズ孤児施設の運営		エンブ郡マジンボ村 マキマ村	2,631千円
定款⑤ 有機薬剤及び有機肥料の普及啓発事業	⑥事業に含まれるため、事業支出なし	適時に実施	エンブ郡内の農民	0千円
定款⑥ 環境保全に係る事業	1)「学校の森」フォローアップ	適時に実施	エンブ郡内の18校の高校	1,370千円
	2) 環境保全事業	適時に実施	イシオロ郡、エンブ郡	
	3) 農場開墾&有機農法講習会	適時に実施	エンブ郡内	
	4) 環境人材育成事業	適時に実施	エンブ郡内	
事業実施経費合計				4,001千円

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	支出額 (千円)
定款① 有機薬剤及び有機肥料の販売事業	この事業は実施しておりません。			0千円